

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

熊本大学大学院 薬学教育部 医療薬学専攻（博士課程）

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 熊本大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務ユニット

職名・氏名	係長	緒方 建
電話番号		096-342-3274
(夜間)		096-342-3274
F A X		096-342-3110
e-mail		sgo-kikaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

担当部局（課）名 生命科学系事務ユニット

職名・氏名	副課長	中村 志郎
電話番号		096-371-4115
(夜間)		096-371-4115
F A X		096-371-4639
e-mail		sky-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

- 1 調査対象大学院等の概要等・・・・・・・・・・ 1
- 2 授業科目の概要・・・・・・・・・・ 5
- 3 施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・ 8
- 4 既設大学等の状況・・・・・・・・・・ 9
- 5 教員組織の状況・・・・・・・・・・ 13
- 6 留意事項に対する履行状況等・・・・・・・・ 20
- 7 その他全般的事項・・・・・・・・・・ 21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 熊本大学

(2) 大学名

熊本大学大学院

(3) 大学の位置

〒862-0973

熊本県熊本市中央区大江本町5番1号（熊本県熊本市中央区黒髪二丁目39番1号）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(タニグチ イサオ) 谷口 功 (平成21年4月)		
理事	(ヤマナカ イタル) 山中 至 (平成23年4月)		
理事	(ハラダ シンジ) 原田 信志 (平成23年4月)		
理事	(モロズミ ミツオ) 両角 光男 (平成23年4月)		
理事	(アベ シンイチ) 安部 眞一 (平成21年4月)		
理事	(クラタ ユタカ) 倉田 裕 (平成23年4月)		
理事	(ノグチ トシオ) 野口 敏夫 (平成16年4月)		
教育部長	(オオツカ マサミ) 大塚 雅巳 (平成20年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の博士後期課程の場合(平成25年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学教育部 医療薬学専攻 (博士課程) 博士(薬学)	4年	8人	32人	基礎となる学部等 薬学部薬学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 -	人 (-)	人 8	人 (-)	人 8	人 (-)	0.87 倍	
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	8 (2) [-]	(-) [-]	7 (1) [-]	(-) [-]		
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	8 (2) [-]	(-) [-]	7 (1) [-]	(-) [-]		
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	8 (2) [-]	(-) [-]	7 (1) [-]	(-) [-]		
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	7 (2) [-]	(-) [-]	7 (1) [-]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A			0.87		0.87			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] 7	[-] -	
2年次	/		[-] 6	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次	/		/		[-] -	[-] -	
計	[-] -	[-]	[-] 6	[-]	[-] 7	[-]	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	0人	0人	平成22年度	0人	0人		0%
			平成23年度	0人	0人		
			平成24年度	0人	0人		
			平成25年度	0人	0人		
平成23年度 入学者	0人	0人	平成23年度	0人	0人		0%
			平成24年度	0人	0人		
			平成25年度	0人	0人		
平成24年度 入学者	7人	1人	平成24年度	1人	0人	経済的事情及び進路変更のため(1人)	0.1%
			平成25年度	0人	0人		
平成25年度 入学者	7人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
合計	14人	1人					0.1%

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<薬学教育部 医療薬学専攻（博士課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全コース共通	生命倫理学特論	1前	2			1						教育内容充実のためカリキュラムの構成を見直し、配当年次を変更(24) 専任教員の退任及び昇任による変更(25) 専任教員の退任及び昇任による変更(25) 教育内容充実のためカリキュラムの構成を見直し、配当年次を変更(24) 専任教員の退任による変更(25) 専任教員の退任による変更(25)
	医療薬学論文研究	1後 1前	2				1					
	医療総合演習	1～4通	2			8	1					
	医療実践演習	1～4通	2			8	5 6	2		5 7		
	医療特別実験	1～4通	10			8	5 6	2		5 7		
	副作用被害・医療訴訟特論	1後 1前		2		1	1					
	臨床開発演習	1後		2		1						
	治験コーディネイト演習	3前		2		2						
薬剤疫学特論	3前		2			1					専任教員の退任による変更(25)	
臨床薬学コース	専門薬剤師実習	2通		8		1						専任教員の昇任による変更(25)
	実践臨床薬学実習	2通		8		1						
	地域医療連携特論	1後	2				1					
	医療経営学特論	1後		2		1						
	プライマリケア実習	1後		2			1	1				
	専門薬剤師特論	2前		2		1						
	TDM演習	3前		2		1						
医薬品治験開発特論	3前		2			1						
医療薬学コース	医療薬科学特論	1前	2			1						専任教員の昇任による変更(25)
	医療薬科学課題実習	1後	2				2					
	再生医療特論	1後		2		1						
	実践インターンシップ講座	2通		2		8	1					
	トランスレーショナル基礎講	3前		2			1	1				
	医薬品製造・臨床調剤実習	3前		2		1						
	医療ICT演習	3前		2		1						

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 8	科目 16	科目 0	科目 24	科目 8 [0]	科目 16 [0]	科目 0 [0]	科目 24 [0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習セン ターとの共用 623㎡ 地上権設定者：財団法人 熊本テクノポリス財団 地上権設定期間： S62.9.1から30年間 19,946㎡ 貸与者：熊本市 借用期間：H25.4.1から H26.3.31 494㎡			
	校舎敷地	458,183㎡	623㎡	0㎡	458,806㎡				
	運動場用地	39,752㎡	0㎡	0㎡	39,752㎡				
	小 計	497,935㎡	623㎡	0㎡	498,558㎡				
	そ の 他	161,442㎡	0㎡	0㎡	161,442㎡				
	合 計	659,377㎡	623㎡	0㎡	660,000㎡				
(2) 校 舎	専 用	246,107 245,815 ㎡ (254,028㎡)	0㎡ (0㎡)	1,112㎡ (1,112㎡)	247,219 246,927 ㎡ (255,140㎡)	放送大学熊本学習セン ターの専用1,112㎡ 附属特別支援学校B棟 増築26㎡ 附属特別支援学校C棟 使用変更266㎡			
	共 用								
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	8 室	0 室	2 室	1 室 (補助職員 人)	0 室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	薬学教育部 医療薬学専攻			12 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点		
	薬学教育部	39,123 [23,241] (39,123 [23,241])	1,030 [440] (1,030 [440])	7,359 [7,350] (7,359 [7,350])	632 (632)	1362 (1362)	325 (325)		
	計	39,123 [23,241] (39,123 [23,241])	1,030 [440] (1,030 [440])	7,359 [7,350] (7,359 [7,350])	632 (632)	1362 (1362)	325 (325)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	654㎡	58		53,833					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	1,072㎡	グ ラ ウ ン ド テ ニ ス コ ー ト							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	国費（運営費交付金） による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	熊本大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
文学部									
総合人間学科	4	55		220		1.05	H17年度	熊本市中央区黒髪二丁目40番1号	H17年度から学生募集停止
歴史学科	4	35		140	学士(文学)	1.05	H17年度		
文学科	4	50		200		1.05	H17年度		
コミュニケーション情報学科	4	30		120		1.08	H17年度		
(旧)歴史学科	4	—		—			H9年度		
学部共通			3年次 10	20		0.15	H11年度		
教育学部									
小学校教員養成課程	4	110		440		1.06	S24年度	熊本市中央区黒髪二丁目40番1号	
中学校教員養成課程	4	70		280		1.09	S24年度		
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	学士(教育学)	1.07	H19年度		
養護教諭養成課程	4	30		120		1.10	S52年度		
地域共生社会課程	4	20		80		1.10	H12年度		
生涯スポーツ福祉課程	4	40		160		1.03	H9年度		
法学部									
法学科	4	210		840	学士(法学)	1.03	H16年度	熊本市中央区黒髪二丁目40番1号	
学部共通			3年次 10	20		0.05	H12年度		
理学部									
理学科	4	190		760	学士(理学)	1.05	H16年度	熊本市中央区黒髪二丁目39番1号	
医学部									
医学科	6	115		655	学士(医学)	1.00	S24年度	熊本市中央区本荘一丁目1番1号	
保健学科						1.04			
看護学専攻	4	70		280	学士(看護学又は保健学)	1.03	H15年度	熊本市中央区九品寺四丁目24番1号	
放射線技術科学専攻	4	37		148		1.04	H15年度		
検査技術科学専攻	4	37		148		1.07	H15年度		
保健学科共通			3年次 16	32		0.43	H18年度		

薬学部									
薬学科 (6年制)	6	55		330	学士 (薬学)	1.02	H18年度	熊本市中央区大江本町5番1号	H18年度から学生募集停止
創薬・生命薬科学科 (4年制)	4	35		140	学士 (創薬科学又は生命薬科学)	1.08	H18年度		
薬科学科	4	—		—	学士 (薬学)		S60年度		
工学部									
物質生命化学科	4	80		320	学士 (工学)	1.04	H18年度	熊本市中央区黒髪二丁目39番1号	H18年度から学生募集停止
マテリアル工学科	4	46		184		1.05	H18年度		
機械システム工学科	4	97		388		1.06	H18年度		
社会環境工学科	4	71		284		1.04	H18年度		
建築学科	4	56		224		1.07	H18年度		
情報電気電子工学科	4	153		612		1.03	H18年度		
数理工学科	4	10		40		1.12	H18年度		
(旧) 物質生命化学科	4	—		—			H 8年度		
電気システム工学科	4	—		—			H 8年度		
学部共通			3年次 45	90		1.08	H10年度		
教育学研究科									
学校教育実践専攻	2	13		26	修士 (教育学)	0.76	H21年度	熊本市中央区黒髪二丁目40番1号	
教科教育実践専攻	2	34		68		0.92	H21年度		
医学教育部									
医科学専攻	2	20		40	修士 (医科学又は健康生命科学)	1.47	H15年度	熊本市中央区本荘一丁目1番1号	
薬学教育部									
創薬・生命薬科学専攻	2	35		70	修士 (薬科学又は健康生命科学)	0.85	H22年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
社会文化科学研究科									
公共政策学専攻	2	13		23	修士 (公共政策学又は学術)	0.42	H20年度	熊本市中央区黒髪二丁目40番1号	
法学専攻	2	12		21	修士 (法学)	0.74	H20年度		
現代社会人間学専攻	2	18		36	修士 (文学、法学又は学術)	1.44	H20年度		
文化学専攻	2	18		36	修士 (文学又は学術)	0.99	H20年度		
教授システム学専攻	2	15		30	修士 (教授システム学又は学術)	1.16	H20年度		

自然科学研究科									
理学専攻	2	85		170	修士(理学又は学術)	1.02	H18年度	熊本市中央区黒髪二丁目39番1号	
数学専攻	2	15		30		0.99	H22年度		
複合新領域科学専攻	2	12		24	修士(理学、工学又は学術)	0.49	H18年度		
物質生命科学専攻	2	43		86		1.24	H18年度		
マテリアル工学専攻	2	25		50	修士(工学又は学術)	1.14	H18年度		
機械システム工学専攻	2	57		114		1.10	H18年度		
情報電気電子工学専攻	2	81		162		1.08	H18年度		
社会環境工学専攻	2	38		76		0.95	H18年度		
建築学専攻	2	36		72		1.09	H18年度		
保健学教育部									
保健学専攻	2	16		32	修士(保健学又は看護学)	1.21	H22年度	熊本市中央区九品寺四丁目24番1号	
医学教育部									
医学専攻	4	88		352	博士(医学、生命科学又は健康生命科学)	0.86	H20年度	熊本市中央区本荘一丁目1番1号	
薬学教育部									
創薬・生命薬科学専攻	3	10		20	博士(薬科学、生命科学又は健康生命科学)	1.25	H22年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
医療薬学専攻	4	8		16	博士(薬学)	0.87	H24年度		
(旧)分子機能薬学専攻	3	—		18	博士(薬学又は生命科学)				H24年度から学生募集停止
(旧)生命薬科学専攻	3	—		13				H24年度から学生募集停止	
社会文化科学研究科									
人間・社会科学専攻	3	6		18	博士(文学、法学、公共政策学又は学術)	1.27	H20年度	熊本市中央区黒髪二丁目40番1号	
文化学専攻	3	6		18	博士(文学又は学術)	0.99	H20年度		
教授システム学専攻	3	3		9	博士(学術)	1.33	H20年度		

自然科学研究科									
理学専攻	3	10		30	博士(理学又は学術)	1.20	H18年度		
複合新領域科学専攻	3	18		54	博士(理学、工学又は学術)	0.69	H18年度	熊本市中央区黒髪二丁目39番1号	
産業創造工学専攻	3	14		42		1.06	H18年度		
情報電気電子工学専攻	3	10		30	博士(工学又は学術)	1.06	H18年度		
環境共生工学専攻	3	10		30		0.90	H18年度		
法曹養成研究科									
法曹養成専攻	3	22		66	法務博士	0.54	H16年度	熊本市中央区黒髪二丁目40番1号	
保健学教育部									
保健学専攻	3	6		18	博士(保健学又は看護学)	1.11	H22年度	熊本市中央区九品寺四丁目24番1号	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。

(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<薬学教育部 医療薬学専攻（博士課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	入江徹美	平成24年4月	生命倫理学特論 医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 臨床開発演習 専門薬剤師実習 専門薬剤師特論 実践インターンシップ講座	専	教授	入江徹美	平成24年4月	生命倫理学特論 医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 臨床開発演習 専門薬剤師実習 専門薬剤師特論 実践インターンシップ講座	
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレショナル基礎講座	教員退任による専任教員の変更(25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更(25)
専	教授	中川和子	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 治験コーディネート演習 実践インターンシップ講座	専	教授	中川和子	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 治験コーディネート演習 実践インターンシップ講座	
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレショナル基礎講座	教員退任による専任教員の変更(25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更(25)
専	教授	高濱和夫	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	兼任	教授	高濱和夫	平成25年4月	副作用被害・医療訴訟特論	教員退任による兼任への変更(25)
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレショナル基礎講座	教員退任による専任教員の変更(25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更(25)

専	教授	平田純生	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 TDM演習 実践インターンシップ講座	専	教授	平田純生	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 TDM演習 実践インターンシップ講座	
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員の退任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
専	教授	丸山 徹	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 実践臨床薬学実習 医療経営学特論 実践インターンシップ講座	専	教授	丸山 徹	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 実践臨床薬学実習 医療経営学特論 実践インターンシップ講座	
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員の退任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
専	教授	石塚忠男	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 実践インターンシップ講座 医療ICT演習	専	教授	石塚忠男	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 実践インターンシップ講座 医療ICT演習	
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員の退任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
専	教授	香月博志	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学特論 再生医療特論 実践インターンシップ講座	専	教授	香月博志	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学特論 再生医療特論 実践インターンシップ講座 創作用途薬・医療訴訟特論	教員の退任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員の退任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)

専	教授	有馬英俊	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 実践インターンシップ講座 医薬品製造・臨床調剤実習	専	教授	有馬英俊	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 実践インターンシップ講座 医薬品製造・臨床調剤実習	教員の退任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員退任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
専	教授	齋藤秀之	平成24年4月	医療総合演習 治療コーディネート演習 実践インターンシップ講座	専	教授	齋藤秀之	平成24年4月	医療総合演習 治療コーディネート演習 実践インターンシップ講座 医療実践演習 医療特別実験	教員退任による専任教員の変更 (25)
兼担	教授	浅井 篤	平成24年4月	生命倫理学特論						
専	准教授	渡邊博志	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 医薬品治験開発特論 実践インターンシップ講座	専	准教授	渡邊博志	平成24年4月	医療総合演習 医療実践演習 医療特別実験 医薬品治験開発特論 実践インターンシップ講座	
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員退任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
専	准教授	磯濱洋一郎	平成24年4月	医療薬学論文研究 医療実践演習 医療特別実験						退職 (25) 平成25年3月、磯濱洋一郎 他大学への異動のため
専	准教授	入倉 充	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験 薬剤疫学特論						退職 (25) 平成25年3月、入倉 充 他大学への異動のため
					専		後任未定		薬剤疫学特論	平成25年度中に採用予定 (25)
専	准教授	城野博史	平成24年4月	地域医療連携特論 医療実践演習 医療特別実験	専	准教授	城野博史	平成24年4月	地域医療連携特論 医療実践演習 医療特別実験	
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員退任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)

専	准教授	松永浩文	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習	専	准教授	松永浩文	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習	
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員退任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
専	准教授	白崎哲哉	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験 副作用検査・医療訴訟特論 医療薬科学課題実習						退職 (25) 平成25年3月、白崎哲哉 他大学への異動のため
					兼任	教授	高濱和夫	平成25年4月	副作用検査・医療訴訟特論	教員の退任による変更 (25)
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員退任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
兼担	准教授	飛野幸子	平成24年4月	地域医療連携特論						
専	講師	門脇大介	平成24年4月	プライマリケア実習	専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
専	講師	本山敬一	平成24年4月	トランスレーショナル基礎講座	専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
専	助教	猿渡淳二	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	専	講師	猿渡淳二	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	教員の昇任による職名の変更 (25)
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員退任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)

専	助教	石塚洋一	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	専	講師	石塚洋一	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	教員の昇任による職名の変更 (25)
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
専	助教	鬼木健太郎	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	専	助教	鬼木健太郎	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
専	助教	異島 優	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	専	助教	異島 優	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
専	助教	安藤 眞	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	専	助教	安藤 眞	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
専	助教	副田二三夫	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	専	助教	副田二三夫	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)

専	助教	東 大志	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	専	助教	東 大志	平成24年4月	医療実践演習 医療特別実験	
					専	准教授	本山敬一	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬学論文研究 トランスレーショナル基礎講座	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)
					専	准教授	門脇大介	平成25年4月	医療実践演習 医療特別実験 医療薬科学課題実習 プライマリケア実習	教員の退任及び昇任による専任教員の変更 (25)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
9	15	24	8	12	20		
(9)	(15)	(24)	[Δ1]	[Δ3]	[Δ4]	65歳	0名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	高濱和夫	定年退職に伴う他大学への異動による辞任
2	准教授	入倉 充	他大学への異動による辞任
3	准教授	磯濱洋一郎	他大学への異動による辞任
4	准教授	白崎哲哉	他大学への異動による辞任

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員の昇任、後任採用等により学生の履修等への影響は無い。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
(意見伺いで設置された学部学科等のみ。)
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学教育部 医療薬学専攻（博士課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 32単位 臨床薬学コース 必修科目20単位、選択科目12単位 医療薬科学コース 必修科目22単位、選択科目10単位 ② 施設・設備 a 講義室8室(1,069㎡) b 自習室2室(377㎡) c 図書39,123冊	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD委員会（委員9名） b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 会議1回（委員全員参加）、メールでの持ち回り審議2回 c 委員会の審議事項等 授業評価アンケート項目の見直し、シラバス記載内容の充実化、授業参観の実施計画検討 ② 実施状況 a 実施内容 ・ 授業方法について研究会 ・ 平成25年度以降の授業評価アンケート項目の追加及び授業参観の導入についての審議と周知 ・ シラバス記載内容の充実化のための指導 ・ 新任教員のための研修会（全学での実施） b 実施方法 ・ 授業方法についての研究会：メンタルヘルス専門家による講演と質疑応答 ・ 授業評価アンケート項目の追加及び授業参観の導入について：授業担当教員に周知 ・ シラバス記載内容の充実化のための指導：授業担当の全教員に対し、要点をまとめた資料を配付 ・ 新任教員のための研修会：シラバス作成やe-learningに関する説明と質疑（全学FD委員会による） c 開催状況（教員の参加状況含む） 授業方法についての研究会および新任教員のための研修会はそれぞれ年1回、参加状況8割程度 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 シラバス記載内容についての注意事項の要点が改めて整理され、25年度シラバスの充実化につながっている。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 各科目について隔年で学期末に実施 b 教員や学生への公開状況、方法等 Webシステムを通じて授業担当教員と受講学生に集計結果を公表／全学で実施報告書を刊行・配布 ※熊本大学ポータルサイト「授業改善のためのアンケート結果公開システム」

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

医療薬学専攻は、医療の目覚ましい発展に伴い、先導的薬剤師、臨床研究者及び薬学教育者の必要性を鑑み、6年制学士教育課程を終了学生を受け入れる新しい4年制大学院博士課程として設置された。すなわち、医療薬学専攻では、医療薬学を中心とした基盤的学問を修得し、社会が求める先導的薬剤師、製薬企業の研究・開発、受託臨床試験機関（CRO）、試験実施機構管理機関（SMO）、医薬品製造受託機関（CMO）、大学・研究所（医療ICT（情報通信技術）を含む）などの教育研究機関等で、臨床現場の薬剤師業務を理解する薬学研究者、製薬企業等での研究・開発者、治験コーディネータ、大学等での教員・研究員として活動する人材（Pharmacist-scientists）を養成することを目標とし、教育・研究活動が実施されている。しかし、本専攻は薬学6年制開始後初の大学院であり、周知が不十分であったこと、大学院の年限が4年間であるなどの理由から、平成24年度の定員8名に対して入学者は7名に留まり、今後、充足率向上を図るため、大学院の広報活動をより一層充実させる予定である。

教育面においては、1年目は特論・演習・特別実験が中心であり、特に、社会人大学院生に対しては、土・日を利用した集中講義およびe-ラーニング授業を活用し、順調に進行した。また、平成22年度に設置された「薬学部附属薬フロンティアセンター」模擬薬局での研修、地域の薬剤師・学生を対象にした同センター主催セミナーが定期的に開催されており、先導的薬剤師養成の一助となっている。2年目には、臨床薬学コースにおいて、長期学外実習が予定されており、学外受入病院等と調整を行った。さらに、平成21年度に導入した「臨床教授制度」を活用し、臨床経験豊富な多職種のエキスパートによる授業も開講される。研究面では、専任教員による国際学術雑誌への論文掲載数が極めて多く、また、ドラッグデリバリーシステムおよび腎臓病を対象疾患とした研究実績は、日本最高レベルである。さらに、薬学教育部は、薬学部とともにISO14001の認証機関であり、エコファーマに関する活動が積極的に実施されている。このように、医療薬学専攻においては、先導的薬剤師、臨床現場の薬剤師業務を理解する薬学研究・開発者および教育者の養成に向けた活動が順調に開始された。さらに、文部科学省の平成24年度博士課程教育リーディングプログラム[複合領域型(生命健康)]において、「グローバルな健康生命科学バイオニアとしてのリーダー」を養成する大学院教育プログラムが採択されたのを契機に、大学院教育・研究に対して相乗効果を生み出すべく鋭意努力している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年5月31日 公表

（平成24年度設置で4年課程のため、毎年評価を行い、平成28年5月を目途に公表予定である。）

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成28年5月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成30年度に評価機関（薬学教育評価機構）の評価を受けるべく、学部内で検討中

・本学では、平成27年度に大学評価・学位授与機構の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (25年 5月 31日)